



ボタニカルニュース ~牧野公園情報~

◇春のよそおい♪

スマレやウマノアシガタ、その他、春のお花が続々と咲く季節です。2月に咲き始めた桜も後半戦に入りましたが、まだまだ楽しむことができます。様々な種類のツツジも見頃を迎えていますよ♪

牧野博士が初めて学名と和名を付けた植物である、ヤマトグサも4月に咲きます。花は小指の爪ほどもありませんが、雄花はおしべがシャラシャラしていて可愛らしいです。カエデの花が咲くのも今の時期で、5ミリ程度の小さなお花です。そんな小さな世界にも注目です♪

牧野公園を訪れるのが大変な方は、見頃情報を載せているフェイスブックページ「まちまるごと植物園」を〈検索〉していただき、ご覧いただけると幸いです♪



シハイスミレ
(3~4月)



ウマノアシガタ
(4~5月)



ユキモチソウ
(4月)



ニリンソウ
(4月)



ヤマシャクヤク
(4月)



シャガ
(4月)



ヤマトグサ(大和草)の雄花
ハコベのような小さな植物です。どこにでもある雑草にも見えますが、山地の林内など分布は限られています。



まちまるごと植物園 ~まちの植物情報~

machimarugoto syokubutsuen

◆『みんなで育てよう！牧野博士ゆかりの山野草・種まき会』開催♪

植物を育てる喜びを感じてもらおうと、毎年早春に種まき会を開催しています。今年は2月21日に牧野公園で開催し、町内外からの参加者が植物と触れ合いました。当日はお天気にも恵まれ、スタッフにコツを教わりながら種まきをし、その後は公園の散策を行いました。バイカオウレンやフクジュソウなど、早春のお花たちが生き生きしている姿を観察することができました。

次回は5月頃に鉢上げ会を予定しています♪(※今回参加できなかった方も参加可能です！)



「種まき会」の流れ



1 公園で採取した、約80種類の種からお好きなものを3つを選びます。



2 種類に合わせて配合された用土を使います。(用土も実は奥が深い！)



3 細かい種や綿毛の付いた種など形は様々で、うっかり飛ばさないように注意しながら種をまきます。

青山文庫だより

銅像建立記念小展示と 牧野富太郎博士生誕祭について

4月には、旧青山文庫(旧浜口家住宅の西隣にある白い西洋風建築の建物)付近が大きく変わります。ちょうど、旧浜口家住宅に接する場所に、土木工学の分野で神のように慕われている広井勇博士の銅像が設置されます。

この銅像建立に併せて、少しフライング気味ではありますが、青山文庫では広井博士の業績を紹介する、銅像建立記念小展示「近代土木の先駆者 広井勇」を実施しております。

広井博士は、佐川の出身で、日本人としてはじめてコンクリート製の防波堤を北海道の小樽港に建設し、日本の高い技術力を世界に示した事で知られる人物ですが、母校の札幌農学校や、東京帝国大学(現東京大学)で人材育成に尽力した事でも知られています。自身がキリスト教徒であった事もあり、教え子たちには「清きエンジニアであり」と指導していました。その教え子たちが、先駆者である広井博士に続き、近代日本のインフラ(社会基盤)を築いたの

です。その意味においても、広井博士は近代日本の基盤を土木工学の面で支えた人物といえるでしょう。

また、4月といえば牧野博士の誕生月です。今年も牧野富太郎博士生誕祭に当館も参加しており、誕生日当日の4月24日(土)は入場無料となります。また、希望者には牧野室の展示解説を3回(9時・14時・16時)行います。

牧野富太郎博士生誕祭では、いろいろな取り組みが予定されており、牧野公園周辺は楽しいお祝いムードになりそうです。牧野公園に上がる際は、ぜひ青山文庫の南庭を通って上がってみてください。普段から牧野公園の手入れをされている方々が、素敵なお花のケーキを南庭に登場させてくださる予定です。ぜひ展示と併せてお楽しみください。(青山文庫 藤田有紀)

展示案内

○春の企画展「青山文庫の収蔵品あれこれ」
絵画の世界

○小展示「志士たちの遺墨」

○銅像建立記念小展示「近代土木の先駆者 広井勇」
3月13日(土)~6月13日(日)

文芸

川柳

金運の 神様今日は 二日酔い
葱刻む 姥の真似して 掠り傷
芋ライス 昭和の味が 懐かしい
老人の回顧 小学新入生の寄り道
東 聖 (ペンネーム)

俳句

溪谷に 水の戻りて 山笑ふ
味元 佐知子
大地射す 弓矢のごとし 春日待つ
東 聖 (ペンネーム)

短歌

恋しきと 君に言の葉 投げたれば
船艦解かれて 船出するまま
東 聖 (ペンネーム)
寒さまし身を切るような冷たさに
山も眠りて冬將軍
春一番木の芽起こしの雨も降り
三寒四温春爛漫
福寿草 (ペンネーム)

川柳・俳句・短歌を広報さかわに掲載してみませんか？

※6月号への掲載を希望される方は5月1日(土)まで
投稿方法:氏名・住所・電話番号と、川柳・俳句・短歌のいずれの部門かをご記入のうえ封書やはがき、ファックスにてお送りください。応募多数の場合は抽選により掲載します。